

本質的な問い 学んだことを現在及び将来の自己の生き方にどうつなげて、どう生きるか

単元名 自分再発見プロジェクト ～みんなちがってみんないい～

単元の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の安心安全・命を守ることに関わる探究的な学習の過程を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようになるための資質・能力を育成する。

生徒の実態

- (1) 多くの児童は、長崎に関心を持ち、昨年度からの探究学習に意欲的に取り組む素地ができているが、今回は自分の生き方につなげていくことが大きな課題である。
- (2) 情報収集に意欲的な生徒は多いが、得た情報を比較分析して、自分の意見や考えを持ちそれを分かりやすく説明しようとする生徒は、77.5%にとどまっている。
- (3) 自分の将来に夢や希望を持っている生徒はキャリアスタートウィークを通して増え、77.5%であるが、さらに長崎の学習を通して、自分の生き方を考えるきっかけにしていく。

目指す具体の姿＜育成を目指す資質・能力＞

【知識・技能】

(1) 長崎修学旅行に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、探究的な学習の良さを理解している。

【思考力・判断力・表現力】

(2) 長崎修学旅行に関わる中から、課題を見だし、その解決に向けて情報を基に整理分析し、まとめ・表現する力を身に付けている。

【主体性、協働する力】

(3) 長崎修学旅行に関する探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら自分の生き方を考え、地域のために積極的に参画しようとしている。

単元を貫く問い 学んだことから、自分の考えや意見を深め、社会の一員として何をすべきか

【探究課題 自分再発見プロジェクト ～みんなちがってみんないい～】

(単元導入ためのしかけ)

長崎の修学旅行と各教科学習で学んだことが探究学習としてつなげられるようなアイデア集を作成し、生徒に提示する。

【第3次】（6時間）

地域の人々

課題 自分の考えや意見を深め、行動を起こそう

個別の問い

- ・まとめの仕方を決めよう「企画書・ポスター・プレゼンテーション」
- ・経験したこと、学んだことをどのようにまとめ、表現していくのか。
- ・自分の考えたことや学んだことを何をどのように発信したらよいか。
- ・考えたアイデアは実現できるか。また実現するために何が必要か。
- ・自分の将来につなげられる学びは何か。

教科等において関連する資質能力
(単元名)

- 英語科
(旅行記を書こう 世界遺産)
- 家庭科
(バリアフリーとユニバーサルデザイン)
- 国語科
(長崎ゆかりの作家)
- 社会科
(地域の役割)

長崎で出会う人々

【第2次】（4時間）

課題 班別自主研修で、自分はどう学び、どう動くか。

個別の問い

- ・人や社会、自然との関わりにおいて情報分析はどのように行うのか。
- ・自分にできることは何か。
- ・友達の集めてきた情報から自分が参考にできることはないか。
- ・集めた情報は分析するのに十分か。さらに情報が必要であればどのような方法が有効か。

教科等において関連する資質能力
(単元名)

- 社会科
(ナガサキの原爆投下、ヨーロッパとの唯一の窓口・出島)
- 数学科
(稲佐山展望台から見える建物までの距離を調べよう)
- 家庭科
(農漁業体験で肉・魚を調理しよう)
- 国語科
(長崎方言)

家族

【第1次】（4時間）

課題 自分の生き方につなげられる学び、興味のあることは何か

個別の問い

- ・長崎をきっかけに自分の生き方につなげられる課題は何かがあるのか。
- ・どのような情報の集め方が有効だろうか。
- ・情報を集めるための日程と内容について具体的に計画を立てよう。

教科等において関連する資質能力
(単元名)

- 国語科
(情報を活用する 情報探しの方法)
- 社会科
(平和主義の意義と日本の役割)
- 理科
(LED電球の正体)
- 家庭科
(長崎の名物や郷土料理)
- 数学科
(稲佐山展望台から見える建物までの距離を調べよう)